

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公表番号】特表2005-523972(P2005-523972A)

【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2003-587895(P2003-587895)

【国際特許分類】

<i>C 09 J 201/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 L 31/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 J 7/02</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 J 11/04</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 J 133/06</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 J 157/10</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>C 09 J 201/00</i>	
<i>A 61 L 31/00</i>	<i>Z</i>
<i>C 09 J 7/02</i>	<i>Z</i>
<i>C 09 J 11/04</i>	
<i>C 09 J 133/06</i>	
<i>C 09 J 157/10</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月27日(2006.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a ) ヨウ素可溶化液中にヨウ素を混合して、ヨウ素組成物を形成する工程と、
- b ) ヨウ化物可溶化液中にヨウ化物塩を混合して、ヨウ化物組成物を形成する工程と、
- c ) プレ接着剤組成物を提供する工程と、

上記のヨウ素組成物、ヨウ化物組成物およびプレ接着剤組成物をホットメルト混合機中に混合して、混合物を形成する工程と

を含む、ヨウ素／ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を製造する方法であって、ヨウ素／ヨウ化物錯化剤が前記混合物中に存在し、前記混合が、ヨウ素／ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を形成するのに十分な混合で、温度約130～約200にて行われる、方法。

【請求項2】

- a ) ヨウ素可溶化液中にヨウ素を混合して、ヨウ素組成物を形成する工程と、
- b ) プレ接着剤組成物を提供する工程と、

上記のヨウ素溶液、およびプレ接着剤組成物をホットメルト混合機中に混合して、混合物を形成する工程と

を含む、ヨウ素／ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を製造する方法であって、ヨウ素／ヨウ化物錯化剤およびヨウ素還元剤が混合物中に存在し、前記混合が、ヨウ素／ヨウ化物錯体を含有するホットメルトコーティング可能な接着剤を形成するのに十分な混合で、温度約130～約200にて行われる、方法。

**【請求項 3】**

ホットメルトコーティング可能な接着剤組成物中に均一に分散された錯化ヨウ素／ヨウ化物を含む、ホットメルトコーティング可能な接着剤であって、押出しコーティングするために、ホットメルト押出機において加工するのに適した形状である、接着剤。